追手門学院大学 校友会会報

SINCE 1966 OTEMON GAKUIN UNIVERSITY

第43号　平成5年10月17日

発行者　〒567 茨木市西安威2―1―15
追手門学院大学校友会
会長　関　謙二
☎ 2726-43-5421　内線451
© 1993
編集者　佐藤新二

新役員の活躍に期待

副会長二名増員

平成5年4月から四年間、本会の役員としてお世話いただく役員の方々が決定いたしました。新役員による互選の結果、関謙二会長を再選しました。副会長は大橋陽一、平野昌雄の両氏を重任。加えて今期、協力していただける役員の方が増えたことから、組織強化を図るために副会長を前期より二人増員し、岡田惇、小坂井俊夫の両氏を選出しました。二年後に設立三十周年を迎えます。校友会の果たす役割は、ますます重要になってきます。皆さんのご協力とご支援お寄せいただきますよう宜しくお願いいたします。

〈会　長〉▽関　謙二（一期生、経・経）
〈副会長〉▽大橋陽一（総務担当、二期生、経・経）▽平野昌雄（広報担当、一期生、経・経）▽岡田　惇（事業担当、一期生、経・経）▽小坂井俊夫（国際交流担当、二期生、経・経）
〈常任理事〉▽鶴　毅（一期生、経・経）▽佐々進一（四期生、経・経）▽福井教男（四期生、経・経）▽蟻柴潤一（五期生、文・社）▽佐藤新二（十四期生、文・東洋）
〈栄誉理事〉▽宮本正仁（作家・経・経）
〈理　事〉▽川中士郎（五期生、経・営）▽吉田浩幸（六期生、文・社）▽高井郁子（九期生、文・心）▽北井一史（十二期生、経・経）▽口村一郎（東京支部長、七期生、文・心）▽春名弥生（東京支部副支部長、五期生、文・心）▽中川賢幸（中国四国支部長、二期生、文・心）▽東恭考（中国四国支部副支部長、二期生、経・経）▽栗田喜勝（中国四国支部副支部長、七期生、文・心）▽竹田優（中国四国支部副支部長、六期生、経・経）以上六氏は理事扱い
〈評議員／新野三四子（一期生、文・社）▽三橋秀子（一期生、文・英米）▽神田仁志（三期生、文・東洋）▽下村忠功（六期生、経・営）▽森　嘉一（七期生、経・経）▽宮本幸治（七期生、文・英米）▽川崎昭一（八期生、文・心）▽藻川芳彦（八期生、文・社）▽喜多康紀（十三期生、経・経）▽小林祐子（二十期生、文・心）▽川勝寛子（中国四国支部、二十一期生、文・心）▽旭　徹雄（中国四国支部、五期生、経・営）以上両人は評議員扱い
〈顧　問〉▽佐藤良和（兼事務局長、大学院一期生、心理）

中国四国支部　発会式報告記

中国四国支部長　中川賢幸

中国四国地区の会員の念願であった支部会が平成5年3月14日に岡山市駅前町「三好野」で発会しました。

平成5年1月より準備委員会が設けられ2月11日に校友会本部より、平野昌雄副会長、小坂井俊夫常任理事、事務局の佐藤良和先生らと岡山市内で打合せ会をもちました。校友会本部より中国四国地区会員、約子名に往復葉書で案内をして参加を募り、年度末でそれぞれ多忙な時期でしたが23名の参加申込みがありました。

3月14日は好天気であり大学から後藤幸男学長、安川舜朗教務部長、関謙二校友会長、平野昌雄、大橋陽一の両副会長はじめ、小坂井俊夫、鶴毅、蟻柴潤一、佐藤新二の各常任理事、そして事務局の佐藤良和先生が参加され、22名（当日1名欠席）の会員が集って午後1時より、発会式が行われました。

式はまず、関会長の挨拶、後藤学長よりの追手門学院大学の現状、これからの展望などをきかせていただきました。また、安川教務部長より大学の学生の現状、入学試験の現状等について説明を受けました。両先生の話をお聞きし、会員は思い出深い大学生活のひとこま、ひとこまを鮮やかに思い出すことになりました。

会則の制定、関会長より支部への補助金及び支部旗の贈呈が行われました。また支部長を私にという指名があり大変に名誉なことであり引き受けさせていただきました。

二期生で広島県因島より参加された東泰孝氏の音頭で乾杯の後は、参加者全員の自己紹介、近況報告で一気になごやかな雰囲気となりました。

追手門学院大学を卒業してから一期生は23年経っていることにより、会社の社長になっている方、警察官、営業マン、お寺の住職、公務員、ベンションの経営者、主婦、病院の心理士等、様々な職業についておられました。それぞれの職場で活躍されていることがわかりました。

卒業後にはじめて同窓生と会ったことで、話はいつまでもつきませんでしたが予定の時間となり閉会となりました。このように支部会をもってみると、自分の青春時代を過ごした学校に対して改めて「よかった」という気持ちが湧いてきたり、多くの同窓生と知り合いになれたことは、今後の生活に何らかの形で役立つものと思えました。なお、毎年、中国四国各地で支部会を開催していきたいと思いますので、会員の方の参加をよろしくお願いします。

最後になりましたが、支部会の発会については大学当局をはじめ校友会の事務局の方々、役員の方々、その他の方の多大な協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

平成五年度よりの活動方針

会長　関　謙二

記念事業　㉖その他　を、検討しています。

○ **全会員への願い**

三十周年は、必ず来るのです。私たち校友は、私たちが青春の、ひとときを生きた母校の発展に、出来るかぎりの事をしたいと願うのは、自然の想いであろうと私は考えています。

そこで、全会員に、お願いがあります。前述の事業を始めるため皆さんの積極的な支援を切望します。記念事業実行委員会を近く発足させたいと考えていますのでどうか、参加のご意向ご意志を、お示し下さい。

母校を卒業して二十五年も経つと、何かしら振り返って見たくなり、また、母校の様子が気に懸るものです。

母校が、変化の激しい時代を生き抜き、発展する様に、どうか、校友のみなさんの結集したお力をお寄せください。

お願い申し上げます。

時は移り変わるものです。母校が創立されて、時々刻々と年は去り月日は流れてゆきます。これは、止めようも無い現実であり、また必然的な事実であります。

我々は、母校創立三十周年を早や迎えようとしています。

母校は、昭和四十一年四月に、創設されました。一九六六年四月の事であります。

以来、十周年、二十周年を祝い一九六年（平成八年）四月には三十周年となります。残すところ二年余りです。

昨年の、本会役員選挙の結果、本紙に発表致しましたように、本会の今後の四年間を役員として奉仕して下さる会員各位が決定し理事会や合同役員会などで充分に話し合った本年度からの活動方針を、ここに、示したいと思います。

○ **委員会の設置**

創立三十周年に取り組むための四委員会を設置することにしました。

一、事業委員会
二、国際交流委員会
三、広報委員会
四、総務委員会

○ **全役員が各委員会に**

役員は、各委員会に所属して、校友会活動の活性化を図るようにします。

特に、事業委員会は、㉗校友会会員名簿の発行　㉘支部（九州・沖縄地域）（中部・東海地域）（北陸地域）（東北・北海道地域）の結成と設置　㉙母校の発展に寄与する

校友会報告

平成四年度の決算書
平成五年度の予算書

平成4年度　貸借対照表

平成5年3月31日

（単位：円）

資産の部		
1. 流動資産		80,245,190
現金		987,827
普通預金		756,913
三和銀行茨木西支店	716,413	
三和銀行茨木西支店	20,500	
三和銀行茨木西支店	20,000	
定期預金		73,000,000
三和銀行茨木西支店	38,000,000	
摂津信用金庫本店営業部	35,000,000	
有価証券		5,500,000
日本興業銀行大阪支店	5,500,000	
未収入金		450
2. その他の資産		162,420,000
投資等		
将軍山会基金積立		
有価証券		7,20,000
日本興行銀行大阪支店	7,220,000	
貸付信託		79,200,000
東洋信託銀行茨木支店	27,000,000	
住友信託銀行高槻支店	52,200,000	
将軍山会基金2積立		
貸付信託		76,000,000
東洋信託銀行茨木支店	76,000,000	
資産の部合計		242,665,190

負債の部		
流動負債の部		33,852,719
前受金		26,140,000
預り金		7,280,000
未払金		432,719
負債の部合計		33,852,719
基金引当金の部		
基金引当金		162,420,000
将軍山基金		86,420,000
将軍山会基金2		76,000,000
基金引当金の部合計		162,420,000
消費収支差額の部		
翌年度消費収入超過額		46,392,471
消費収支差額の部合計		46,392,471
負債・基金・消費収支差額の部合計		242,665,190

＊預り金　昭和56年度徴収昭和57年度山桜会費

平成4年度　消費収支決算書

自：平成4年4月1日
至：平成5年3月31日

（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
（収入の部）			
会費	23,080,000	23,080,000	0
受取利息	9,100,000	11,539,289	△2,439,289
雑収入	0	0	0
校友会会員名簿関係	0	191,500	△191,500
大学創立30周年記念事業	0	365,100	△365,100
収入の部合計	32,180,000	35,175,889	△2,995,889
（支出の部）			
一般経費			
人件費	1,200,000	1,101,860	98,140
会報印刷費	3,000,000	2,342,040	657,960
その他の印刷費	1,000,000	841,848	158,152
通信費	3,000,000	4,629,442	△1,629,442
交通費	80,000	0	80,000
消耗品費	50,000	0	50,000
会議費	200,000	123,982	76,018
慶弔費	50,000	21,000	29,000
新入会員登録・住所変更等名簿完備費	1,000,000	859,383	140,617
総会費	500,000	0	500,000
雑費	50,000	28,496	21,504
卒業記念品代	6,440,000	6,439,200	800
学友会活動援助費	500,000	1,000,000	△500,000
大学祭援助費	200,000	200,000	0
支部設立準備費	200,000	324,450	△124,400
公租公課	2,300,000	2,3,2,552	△2,552
記念文庫整備費	500,000	501,000	△1,000
国際交流事業	200,000	0	200,000
将軍山会基金繰入	3,000,000	3,063,435	△63,435
将軍山会基金2繰入	3,000,000	3,000,000	0
［予備費］	1,100,000	0	1,100,000
支出の部合計	27,770,000	26,978,688	791,312
当年度消費収支超過額	4,410,000	8,197,201	△3,787,201
前年度消費収支超過額	38,195,270	38,195,270	0
翌年度消費収支超過額	42,605,270	46,392,471	△3,787,201

平成5年度　消費収支予算書

自　平成5年4月1日
至　平成6年3月31日

（単位：円）

科目	予算額
（収入の部）	
会費	26,140,000
受取利息	9,960,000
雑収入	0
校友会名簿関係	105,000
大学創立30周年記念事業	100,000
収入の部合計	36,305,000
（支出の部）	
一般経費	
人件費	1,200,000
会報印刷費	3,000,000
その他の印刷費	1,000,000
通信費	5,000,000
交通費	100,000
消耗品費	50,000
会議費	200,000
慶弔費	50,000
新入会員登録・住所変更等名簿完備費	1,000,000
総会費	500,000
雑費	50,000
卒業記念品代	6,500,000
学友会活動援助費	500,000
大学祭援助費	200,000
支部設立準備費	100,000
支部援助費	300,000
公租公課	1,992,000
記念文庫整備費	200,000
国際交流費	300,000
将軍山会基金繰入	3,000,000
将軍山会基金2繰入	3,000,000
［予備費］	100,000
支出の部合計	28,342,000
当年度消費収支超過額	7,963,000
前年度消費収支超過額	46,392,471
翌年度繰越消費収支超過額	54,355,471

監査報告書

私ども監査役は追手門学院大学校友会の平成4年4月1日から平成5年3月31日までの貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書について監査した。この監査にあたり私ども監査役は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠、通常実施すべき監査手続きを実施した。監査の結果、貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書は、校友会会則に従い、校友会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。

平成五年七月二十五日

追手門学院大学校友会　監事　宮本幸治
監事　森嘉一

REUNION! 物故会員に思いを馳せ

校友会が母校創立二十周年を記念して建立した初代学長・天野利武先生の胸像には、恩師、若くして他界された物故会員の霊をお祀りしています。昨年の大学祭の時、学長の後藤先生をはじめ、現教職員の方々と集まった会員たちで花を捧げ、物故者の霊に母校の発展と繁栄を見守ってもらうよう祈りを捧げました。会員の皆さん、今年の大学祭で母校に来られた節は、この胸像の前で足を止めていただき、物故者の方々の在り日の姿を思い出してくださいませんか。

献花式あいさつ

平野　昌雄

皆さん、お早うございます。

本来ならば会長の関君が、この場に立ち、ご挨拶するのでございますが、只今、入院中ですので副会長・平野が、代理をさせていただきます。

初代学長・天野利武先生をしのぶこの碑はその昔、この丘を駆けた私達の同窓や先輩後輩の中で、早や幽明界を異にされた校友また、恩師や職員で物故された方々の霊をおまつりもうしあげて、末長く、母校の繁栄と発展を護っていただきたいと、校友会が建立した碑であります。

母校創立二十周年を記念して建立いたしましたが、昭和六十一年十月十八日の除幕式の日に、相集いし校友会正会員と特別会員とが故・天野先生をはじめ、故人となられた会員のご冥福をお祈りして、黙禱を捧げただけでその後、今日、平成四年十一月三日に、こうして、この碑の前に集まるのは、二度目でございます。

いろいろな障害や理由が、この五年の間にございました。しかし、今日、只今から、私どもは、毎年この日に、間づ、この碑の前に集まり、物故者の霊をねぎらい、ともに、母校の発展のために、私達のしなければならないことを考え、何をするかをお互いの心の中に誓い合いたいと、思うのでございます。

会長の関君に代わり、一言、ご挨拶と希望を申し述べさせていただきました。

お知らせ

昨年に引き続き、ホームカミングデーが十一月七日に開かれます。卒業生の皆さん、母校に集って旧友や恩師と年月を経て再会してみませんか。

第2回東京支部総会開かれる

さる3月13日、千疋屋（中央区日本橋室町）において、第2回東京支部会の総会が開催されました。

今年度は、会員12名の出席のもと遠路はるばる学長の後藤幸男先生、経済学部教授富山茂先生、顧問佐藤良和先生、校友会平野昌雄副会長、岡田常任理事の御参加をいただきました。

そのために、私ども役員は、会員名簿原簿の完備、会報を発行して会員にお届けして、それを基盤に、会の目的に向っての諸活動を手弁当で行っております。

総会挨拶

校友会は、会員すべての会であり、役員は、校友会会員のための奉仕をすべきであると考えております。

来年の四月以降は、新しい役員によって、運営されるようになります。その候補者推薦を、今行っております。どうか、母校と会員のために、奉仕してくださいますようお願いいたします。

あと四年で、母校は創立三十周年を迎えます。十才人口の減少で、大学は冬の時代に入ると言われています。バブル経済がはじけたこれからは、卒業生である私達校友が、心を合わせ、積極的に行動して、母校の繁栄と発展に協力しなければならないと思います。

どうか、会員の皆様の心の中で、新しい母校愛を育てていただき、本日、ご参集いただかったクラスメートや友人、先輩や後輩の皆さんに、口込みでおつたえください。

最後に、総会場をお貸しくださいました母校と学長の後藤先生に厚くお礼申し上げます。

会長の関君が入院中でございますので、会長挨拶を副会長平野が代読いたしました。有難う存じました。

常任理事会会議録

平成5年2月10日
HOTEL阪神　会議室

1、選挙管理委員会
会員からの質問・疑問点について会談の報告。
選挙管理委員会を開催する（2／15）。

2、東京支部総会開催
3月13日（土）正午　東京・千疋屋
25周年記念事業
(1)国際交流(2)記念講演会(3)会員名簿発行(4)記念賞牌の作成(5)支部開設　東京・中四国

2、新役員就任承諾書返送状況
案内状（往復葉書）2／10発送済み（返信は口村君）
33名発送　内27名承諾

理事会議事録

平成5年3月7日
追手門学院大学
1号館第4会議室

出席14名　委任状7名

1、平成1～4年度　事業報告
(1)国際交流(2)記念講演会(3)会員名簿発行(4)記念賞牌の作成(5)支部開設　東京・中四国

2、新役員就任承諾書返送状況
33名発送　内27名承諾

3、平成4年度　決算について
4月中旬～下旬になる模様。旧役員にて承認する。

4、その他
東京支部総会開催
3月13日（土）正午　東京・千疋屋　会費六千円
案内状発送496　返信170
出席20
大阪よりの出席者
後藤学長
平野　岡田　佐藤（良）

中四国支部発会式
3月14日（日）午後1時　岡山・三好野本店　会費四千円
案内状発送997
大阪よりの出席者
後藤学長
関　平野　大橋　鶴　小坂井
蟻巣　佐藤（新）佐藤（良）
旗（校旗・校友会旗）5対作成
中支部助成金　各10万円当日持参
校友会役員の組織化（次期役員に引き継ぐ）
事務局（総括　名簿管理　渉外）
総務　会計　広報　国際交流
事業（広く会員まで委員を公募）
30周年記念事業　支部開設（九州　東海　北陸）、現状は常任理事にて組織されているが今後は理事・評議員必参加してもらう。各セクションは委員会制をとる。

次期役員への申し送り事項
校友会事務室確保の件
終身会費について
校友会活動PRについて
新会員予定者に8、9月頃発送
会長の言葉
校友会活動は奉仕である。現状は役員の経費を認めていないし、使用していない。このことを役員の皆様確認うえ理解・協力を願いたい。

3、平成4年度　決算について
4月中旬～下旬になる模様。旧役員にて承認する。

4、その他
東京支部総会開催
3月13日（土）正午　東京・千疋屋　会費六千円
案内状発送496　返信170
出席20
大阪よりの出席者
後藤学長
平野　岡田　佐藤（良）

合同役員会議事録

平成5年4月25日
追手門学院大学
1号館第4会議室

定数32名、出席32名（委任状17）
合同役員会開催に当り定数32名中、出席32名（うち委任状出席17名）で成立を確認。このうち、議長に平野氏を選出、議案審議に入った。

第1号議案の理事選出と会長、副会長、常任理事、会計、議長、監事の選任については、3月7日の新役員予備会議で合意している事項を確認した結果、満場一致で理事14人が決定した。

会長については、関謙二氏を再選した。このほか、支部役員（東京2人、中四国3人）については、理事扱いに決定した。

選任された理事14人（出席8人）が別室において審議した結果、常任理事10人を選出した。副会長には平野昌雄、大橋陽一、岡田惇、小坂井俊夫の4人を選任した。

役員会を再開し、上記の審議結果を関会長が報告。常任理事会議長、会計、監事については「早急に選任する」ことで了解を得た。

第2号議案の5年度活動方針は①九州支部（仮称）の設置②30周年事業の検討③名簿管理のための予備調査に着手、以上を了承した。

第3号議案の5年度予算案を上程審議、現在、会計が選任されていないので、佐藤良和事務局長より原案の朗読説明、原案通り承認した。

第4号議案、その他の項で、副会長4人制導入に伴う職務内容、趣旨を説明して了承を得た。

①総務②広報③事業④国際交流の4委員会に各役員が所属することとし、出席者に希望を聞いた。

以上で全議案審議を終了した。

追手門学院大学
校友会会報
SINCE 1966 OTEMON GAKUIN UNIVERSITY

第44号　平成6年1月23日

発行者　〒567 茨木市西安威2—1—15
追手門学院大学校友会
会長　関　謙二
☎ 0726-43-5421　内線451
© 1994　編集者　平野昌雄

小・中・高校の校友会

山桜会と覚書調印交換

追手門学院大学校友会と追手門学院校友会山桜会は昨年十二月一日、連絡協議会を発足させました。小・中・高校の同窓会組織である山桜会と協調することで、小学校から大学の卒業生が結束して追手門学院の発展に寄与していく道が出来ました。

◀今後、一つひとつ話し合っていきましょう。

覚書

本会は昭和五十九年四月一日、追手門学院大学校友会評軍山会として分離・独立しました。

この経緯については過去のものとして、互いの活動を尊重し、理解を深めあっていこうという点で意見がまとまったものです。

覚書は、本会の関謙二会長と校友会山桜会の梅垣健三会長が両会の副会長らが見守る中で調印、文書を交換＝写真＝して固い握手を交わしました。

一、追手門学院大学校友会と追手門学院校友会山桜会は、互いの校友会活動を尊重し、理解を深め合い、緊密な関係を確立するよう努力する。

一、両会は、前記目的のためそれぞれの理事会決議を経て、連絡協議会を設立する。

一、連絡協議会は、双方の会長、副会長その他理事等をもって構成する。

一、連絡協議会は、前記目的のため定期的に開催する。

平成五年十二月一日

追手門学院大学校友会
会長　関　謙二

追手門学院校友会山桜会
会長　梅垣　健三

本会では、母校を巣立って近畿圏外で活躍されている会員の交流促進を図るため、地域支部の設置を進めています。これまでに東京支部、中国四国支部の二支部が出来ました。今年度事業として、九州沖縄支部の設置を進めてまいりたいと思います。

発会式には是非ご参集ください。当日、この地域外からでも足を運んで頂ける皆さんも歓迎します。地方の旧友の方々と旧交を温め、新たな交流を始めてみてはいかがでしょうか。

二月二十六日午後二時から、福岡市博多区博多駅東の「八仙閣」で行います。会費は五千円なので当日ご持参ください。

九州沖縄(新)・東京・中四国の支部だより

卒業年度に関係なく、校友会の会員として集って言葉を交わし、交流の輪を拡げてみようと思われる方は多かったようです。

発会式で、総会開催場所は各地域を持ち回っていくことが確認されていましたが、第一回総会を広島で開くことになりました。

開催日は三月六日の日曜日午後一時から、広島市中区の「チサンホテル広島第二」で行います。会費は四千円です。関西圏の集積地で、情報交換をしてみましょう。きっと旧友たちの近況のみならず、皆さんの仕事の話にもつながっていくと思います。

首都圏在住の皆さんにお知らせです。東京支部の総会が三月五日正午から、東京都中央区日本橋室町「千疋屋」で開かれます。土曜日ですが、お休みの方も多いと思います。日本の情報が集まる場でもあります。

本会は、昭和六十年に発足しました。小・中・高校の校友会の皆様方の情報交換を通じて心の通い合いを深めることが大切だと思います。

しかしながら卒業生の皆様方が、珍しく今年の初夢は大学の将来、とりわけ国際時代への対応のそれでした。これまでの本学の国際化対応といえば、主に学生交換を中心とした交流であり、しかも精々三ヵ月ぐらいの滞在によるものでした。そのため、追手門学院大学の名前は、残念ながら海外でも余り知られておりません。ようやく今春よりオーストラリアのトゥーンバ市（高槻市と姉妹提携）にある南クインズランド大学と教員交換が実現する運びとなりましたが、正直に申しまして、まだまだこれから、というところです。

大学冬の時代の生残り戦略として一般に言われるところは、優れた教授陣を揃えること、国際化や高度情報化への対応などを進めて特色を打出すこと、学生を大切にすること、などですが、私はその前に卒業生との繋がりを大切にする大学にしなければ、と思っています。

二年後には大学創立三十周年の記念すべき年を迎えますが、これを契機に同窓会で、さまざまな後援基金財団を設立していただければ、喜びに堪えないのではありません。これまでも折に触れ役員の皆様方にお願いしてきましたが、是非一日も早いこれの実現を願っております。

随分身勝手な初夢でしたが、「国際的に知名度の高い追手門学院づくり」というかねての思い詰めがこのようなタワゴトになったとして御寛恕下さい。本年の皆様方の御健勝をお祈りしております。

初夢に想う

学長　後藤幸男

新年明けましてお目出とうございます。本年も母校に対し、卒業生の皆様方の倍旧の温かい御支援をお願い申し上げます。

私はあまり夢を見ない方ですが、珍しく今年の初夢は大学の将来、とりわけ国際時代への対応のそれでした。これまでの本学の国際化対応といえば、主に学生交換を中心とした交流であり、しかも精々三ヵ月ぐらいの滞在によるものでした。そのため、追手門学院大学の名前は、残念ながら海外でも余り知られておりません。ようやく今春よりオーストラリアのトゥーンバ市（高槻市と姉妹提携）にある南クインズランド大学と教員交換が実現する運びとなりましたが、正直に申しまして、まだまだこれから、というところです。

またこれとは別に、目下旧西独のゲッチンゲン大学（有名なグリム童話の作家グリム兄弟はここの教授でした）との交流を開始すべく交渉中ですが、これもどう展開するか未知数といった状態です。しかし何としても実現に漕ぎつけ、私のかねてからの念願である「全方位交流」を推進するきっかけとしたいものと思っています。

改めて申すまでもなく国際化とは異国の文化の相互理解だと思います。また文化とは、ココロとココロの所産だと思っています。この国際化を本学で具体的に展開するには、従来の学生交換にとどまらず、教員、職員の皆さん方の海外研究や研修を全方位的に進める、積極的に留学生（とくに東南アジア諸国から）の受入れを進め、相互の文化、学術の交換を通じて心の通い合いを深めることが大切だと思います。

しかしながら卒業生の皆様方が

Homecoming Day に寄せて

中　道　博

Homecoming Day が世代むすび、追大の学風と伝統を支えて発展させるきずなとなるよう願ってやみません。

この催しは今年で3回目ですが、まだ余り周知されていないことは言え、参加者も今のところ30社ほどと寂しいものになるおそれさえあります。願わくば、学生時代どんなに大きな組織に入学するようになったいま、なにがしかの縁あってこの大学に学び、自分達の学生生活、さらには追大の将来像など語り合い、今年も大学を巣立って、本学を出ます迄に、"おかえりなさい"と言葉に及び、校友会も巨大な組織にしていただきたく、教職員、学生、本学も創立30周年を目前にしています。一昨年に参加していただき、自分達の学生時代とのつながりをもう一度思い出していただければ、追大のさらなる飛躍が約束されるものと信じます。

今年も大学祭を機に、"おかえりなさい"と言葉を掛けてあげたいと思います。

ホームカミングデーに思う

一期生45経　岡田　治宏

昨年の時は、約80年ぶりという寒波の多くの学生の皆さんをご一緒に体験できたことも良き思い出です。

今回のホームカミングデーに際しても参加させていただきますが、とてもうれしく感謝致しております。

昨年の時は、約80年ぶりという寒波の多くの学生の皆さんをご一緒に体験できたことも良き思い出です。

今回のホームカミングデーに際しても参加させていただきますが、とてもうれしく感謝致しております。

ホームカミングデーで

51経・短卒　河内　悦子（大学勤務）

やさしい陽ざしがふり注ぐ秋晴れの日曜日。活気と躍動に満ちあふれる若者達の間をすり抜けながら、私はあつかましくも校門の多くの建物に吸い込まれていきました。

目に着いたところから、後輩の皆さんをご一緒に「合格おめでとう」と声をかけたかったのですが、今回は卓上プログラムをながめ、学園の変貌ぶりに驚嘆の声をあげるばかりでした。

先生と共に催し物に参加させてもらおうと思い出話に花を咲かせました。

期待していました。

来年も参加させてもらおうと何かと思います。

私達は、今より未来中心に考えて、不安がちな同窓会幹事に、委員の皆様に心より感謝致します。

ホームカミングデーで

51経・短卒　河内　悦子

やさしい陽ざしがふり注ぐ秋晴れの日曜日。活気と躍動に満ちあふれる若者達の間をすり抜けながら、私はあつかましくも校門の多くの建物に吸い込まれていきました。

目に着いたところから、後輩の皆さんをご一緒に「合格おめでとう」と声をかけたかったのですが、今回は卓上プログラムをながめ、学園の変貌ぶりに驚嘆の声をあげるばかりでした。

先生と共に催し物に参加させてもらおうと思い出話に花を咲かせました。

期待していました。

来年も参加させてもらおうと何かと思います。

私達は、今より未来中心に考えて、不安がちな同窓会幹事に、委員の皆様に心より感謝致します。

久し振りの母校

平成3年英米　花光智孝子

十一月七日（日）、久方振りに、大学へ向かう人々に混じれながら、「こんな所にゲート通過センターが出来てる。」とか「大学の看板の色が派手になったね。」と新しい風景に驚かされた。

「今日は誰に会えるんだろう。」と学生時代に戻った様な気持ちで、校舎の前に集合。

今後もより多くの卒業生が集い、"おかえりなさい"と言葉を掛けてあげたいと思います。

ホームカミングデーに参加して

昭和35年1期　橋本　尚子

第3回 O.G.U. Homecoming Day ―おかえりやす…追大一には、子供連れの方から新卒者までが集い、それぞれが久しぶりの母校での語らいに、楽しいひとときをすごしました。

留学生の懇親会と日本語でのスピーチ、中国からの留学生のスピーチには、彼女の向学の熱意と日中の懸け橋となろうとする気概がひしひしと感じられ、私たちはそれぞれの道で研鑽を怠ってはならないと、大いに触発されました。

現在、心理学科で非常勤講師として授業のお手伝いをしている私にとって、在学中に私の講義を受けた、声をかけた学生がいらしたことは、月日の経つ速さと共に、とても嬉しいことでした。

大学に残っている者として在校生や卒業生が、母校を誇りに思い、時にはきびしい感じに打ちながら、それぞれ忙しくしている姿は、学生時代にあふれていました。

二十歳前後の人生で最も多感な時代の、喜びも悩みも全てを受け止めてくれた母校へ、里帰りされた際にも、英気を養うという意味の中で、仕事、子育てに追われ、自分自身を見つめる時間も持てない今、学生時代に戻って、昔の自分に少しでも味わうことができる、そんなホームカミングデーであってほしいと思います。

参加者が過去一回の開催時に比べて少なかったことです。ニュースは、ただ一つ残念だったことです。ニュースの発信の仕方に問題があったのではないでしょうか。

今後もより多くの卒業生が集い、"おかえりなさい"と言葉を掛けてあげたいと思います。PRの工夫を、講演会場では学長広下、同学部長、教務・学生部長他教職員の方々として、授業のお手伝いをしている私にとって、在学中に私の講義を受けた、声をかけた学生がいらしたことは、月日の経つ速さと共に、とても嬉しいことでした。

大学に残っている者として在校生や卒業生が、母校を誇りに思い、時にはきびしい感じに打ちながら、それぞれ忙しくしている姿は、学生時代にあふれていました。

二十歳前後の人生で最も多感な時代の、喜びも悩みも全てを受け止めてくれた母校へ、里帰りされた際にも、英気を養うという意味の中で、仕事、子育てに追われ、自分自身を見つめる時間も持てない今、学生時代に戻って、昔の自分に少しでも味わうことができる、そんなホームカミングデーであってほしいと思います。

参加者が過去一回の開催時に比べて少なかったことです。ニュースは、ただ一つ残念だったことです。ニュースの発信の仕方に問題があったのではないでしょうか。

今後もより多くの卒業生が集い、"おかえりなさい"と言葉を掛けてあげたいと思います。PRの工夫を、講演会場

ホームカミングデーに出席して

昭和62年卒　庭窪　博史

自分は生学当時に、現在所に勤務してきたこともあり母校とのご縁を感じております。

今回、日程的な都合もあり初めて出席しましたが、年齢的に若い方がやや少なく、この記事を見て、来年は多数の出席を期待します。

最近感想というご依頼をいただきましたが、90名という時間の中で、なごやかな雰囲気で盛会に行われ各出席者もお満足されただろうと思います。

ただ残念な点は受付の出来事です。ある男子職員の態度に、卒業生の一人が怒りを覚えたことです。

母校の初期の卒業生もかなりのものになっており、現在の学生の様な気持ちで参加できるものもいるかと思うとともに、50名という数字は、来年に向けて少なくとも倍増させてもらいたいものです。

この会の開催に際しては、出席につきましては、ある程度の人数を把握しておりましたが、"昔この様な態度で学内で接していない……"

当日のインタビューから

増えていて驚きました。

校舎が

池上悦朗（51経文・心理）

毎年来ているので変わっていないように思いました。

奥貫紀子（平成三年文・心理）

これから先輩として…

中村幸浩（平成三年経・経済）

五年ぶりですが、全然変っていないと会報でみましたが、それほどでもなく大きく変ったようには思いません。

小坂真弓（47年文・英学）

十年ぶりです。大きくなっていたのに驚きました。食堂がきれいになっていました。

橋爪理子（平成三年文・心理）

社会に出て三年目ですが、毎日のように出席しております。

留学生の感想

方　暁

この会に出席させていただけることは、私は夢とも思っておりませんでしたので、正直ときめきました。

雰囲気がとても和やかで、色々な話題で盛り上がったことがとても感動しております。

私は中国の上海方面市から、友好都市関係で、四年前に初めて日本に来ました。

東京都内の大学で学ぶことになりました。

始めのうちは先輩の留学生がすべてで新鮮でしたが、とにかく沢山勝手がわからず、困ったことがありました。しかし、この大学は、先輩もろうんのこと、教務課の方々、厚生課の方々がとても親切にして下さいましたので毎日が楽しく学校生活を送っております。

ホームカミングという、その言葉通り、故郷に帰るような感じで、皆様方にお会いすることは出来ませんでした。

残念ながら多くの恩師にお会いすることは出来ませんでしたが、しかし、先生方に心から感謝の気持ちを抱えて一号館へ向かう時、今までの学生時代とは違った立場でお会いすることに、何かとても新鮮な感じでした。

学生生活については、楽しい事ばかりではありませんでしたが、今、その頃を思い返してみると、それもまた良き思い出となっております。

短期間ではありましたが、常に品位を保ち、各人の自己の行動に責任を持って対処しなければならないことを改めて考えさせられた日々でありました。

短信

一九九六年八月一日、私の社は業員・内装用木材の卸問屋として、業者をあげました。当時の資本金55千万円程度にまとめて、お送り下さい。

学科名をお忘れなく。

短信をどうぞ

会員諸兄姉のご活躍や、ご家庭でのエピソード、旧友・同窓生の消息など、会報や新建材にまで広げております。

思えば本学を卒業して二十数年、これほど充実した日々はなかったと思います。

これからも色々な問題が山のように正面からぶつかって、会社事にも正面からぶつかって、会社と、地域社会に貢献すべく努力を傾注していくつもりです。

47年経・経済卒　福井　勝教

南部雅夫（45経・経済卒）

毎年来ていますが、家族でのOB会で来ましたが、非常に連れてきました。今年は家族をご連れてきました。三十周年が近くなり会報でみましたが、それまでにも大きく変化しておいてはいけない。

社会に出て三年目ですが、毎日のように出席しております。

五年ぶりですが、全然変っていないと会報でみましたが、それほどでもなく大きく変ったようには思いません。

十年ぶりです。大きくなっていたのに驚きました。食堂がきれいになっていました。

これから先輩として…

社は業員・内装用木材の卸問屋として、業者をあげました。当時の資本金55千万円程度にまとめて、お送り下さい。

学科名をお忘れなく。

短信をどうぞ

会員諸兄姉のご活躍や、ご家庭でのエピソード、旧友・同窓生の消息など、会報や新建材にまで広げております。

思えば本学を卒業して二十数年、これほど充実した日々はなかったと思います。

これからも色々な問題が山のように正面からぶつかって、会社事にも正面からぶつかって、会社と、地域社会に貢献すべく努力を傾注していくつもりです。

47年経・経済卒　福井　勝教